2026年度第2回（理科）　解答例と正答率

【大問1】…大問全体での平均得点率 51.5%

(1)(A)　ア　91.3%
　(B)　オ　30.6%
　(C)　ア　8.1%
　(D)　イ　52.6%
　(E)　ア　58.4%

(2)①向かう血液：　イ　49.1%
　①もどってくる血液：　ア　45.1%
　②　カ　41.6%
　③　ク　46.8%

【大問2】…大問全体での平均得点率 59.6%

(1)　い　87.2%

(2)　い　41.0%

(3)　あ　23.7%

(4)方法：お湯にピンポン玉をつける。　理由：ピンポン玉の中の空気の体積がおおきくなったから　59.2%

【大問3】…大問全体での平均得点率 51.7%

(1)液体A　あ　76.1%
　固体B　え　72.8%

(2)　空気　8.7%

(3)　二酸化炭素が水にとける　35.3%

(4)①　ウ　41.6%
　②　い　28.9%

【大問4】…大問全体での平均得点率 49.1%

(1)(ア)　う　9.8%
　(イ)　い　75.7%

(2)(A)　6　53.2%
　(B)　9　28.3%

(3)(ウ)　おくらせる　44.5%
　(エ)　早める　50.3%

(4)　あ　43.9%

(5)(オ)　あ　43.9%
　(カ)　い　50.9%
　(キ)　え　71.1%

(6)　葉や根への養分が、花がさくのに使われるから。　32.7%

【大問5】…大問全体での平均得点率 49.3%

(1)　12cm　79.8%

(2)　25g　78.6%
(3)　50g　11.0%
(4)　10cm　0.6%
(5)　50g　16.8%

【全体の講評】

大問１は生物分野から血液の流れについて、出題しました。過去問をしっかりと解き、理解することができれば高得点が望めた問題となります。大問２は化学分野から温度による体積変化に関する問題を出題しました。教科書に載っている実験と日常のつながりを問う問題でした。普段から実験に主体的に取り組むことで理解を深めていけると良いでしょう。大問３は化学分野から二酸化炭素の発生と体積測定ついて出題しました。何のために平底フラスコが設置されているのかを二酸化炭素の性質から導き出す問題でした。また、(4)の問題はグラフを読み取り、量的な関係を問う問題はこれまでも頻繁に出題されていました。大問４は地学分野から日の出と日の入りの時刻に関する問題を出題しました。資料となる表からわかることを発見し、本文中の文章からヒントを読み取る力が問われる問題でした。解答に至るまでの、知識と思考力が必要となる問題でした。大問５は物理分野からばねとてこについて出題しました。ばねの性質を表から読み取り、そこにてこの知識を組み合わせる力が必要とする問題でした。